

県内外からの多様な人材の確保に向けた取組みによる「園芸大国やまがた」の実現

<<山形県農業労働力確保対策実施協議会>> 事業取組概要

【事業の実施方針】

農業就業者の減少や担い手の高齢化等が進行する中、本県の農繁期における労働力不足は、本県農産物の顔と言えるさくらんぼに加え、すいかやえだまめ等の園芸作物においても顕在化してきていることから、関係機関や団体が連携し、労働力不足の解消に向けて、多様な人材を確保していくための取組みを推進する。

- さくらんぼの短期的な労働力の確保に向けた取組みを充実・強化していく。
- さくらんぼの取組みの成果を踏まえ、ほかの本県主力の園芸作物(すいか、メロン、えだまめ、ぶどう、りんご等)における労働力確保の取組みを拡大していく。



【事業実施体制】

山形県農業労働力確保対策実施協議会			
目的	組織構成		
○「園芸作物の農繁期における短期的な労働力の確保に向けた推進方策(H30.3に策定予定)」を踏まえ、労働力不足の要因や改善策の検討を行い、労働力不足の解消に向けた取組みの推進			
構成員	農業団体 JA山形中央会 JAなど	農業者団体 農業法人協会 認定農業者協議会など	関係団体 子育て支援NPO法人 シルバーパートナーズ連合会 中小企業団体中央会など
行政機関	労働局 市町村 県など		
さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム			農業労働力確保対策ワーキングチーム
取組内容	○労働力確保に向けた取組みの充実・強化 <ul style="list-style-type: none">・SNS等を活用したさくらんぼ作業の魅力発信による募集PR・農作業体験研修会による新規雇用労働力の掘り起こしなど		
取組エリア	○さくらんぼ主産地		
取組内容	○野菜やさくらんぼ以外の果樹の労働力確保に向けた取組み①産地間連携による共同方式求人の推進 <ul style="list-style-type: none">[取組品目] メロン、えだまめなど②異なる地域・作物のリレー方式の求人の推進<ul style="list-style-type: none">[リレー品目] さくらんぼ、すいか、りんごの組み合わせ・アスパラガス、西洋なしの組み合わせ・さくらんぼ、ぶどうの組み合わせなど		



【事業の主な内容】

- 30年度
- JA無料職業紹介所の設置促進(設置:12JA／17JA)
 - さくらんぼの労働力確保に向けた取組みの充実・強化
 - ・SNSを活用し、農業の魅力を情報発信
 - ・求職者向けの農作業体験研修会や雇用者向けの労務管理研修会の拡大
 - 野菜・さくらんぼ以外の果樹の労働力確保に向けた取組み
 - ・同一作物の複数JA共同方式による労働力確保(えだまめ、メロン)
 - ・作物横断的な複数JAリレー方式による求人(さくらんぼ→すいか→りんご)

- 31年度
- JA無料職業紹介所の設置促進(設置:14JA／17JA)
 - さくらんぼの労働力確保に向けた取組みの充実・強化
 - 野菜・さくらんぼ以外の果樹の労働力確保に向けた取組み
 - ・新たな作物(アスパラガス、西洋なし、ぶどう)での取組みを追加
 - 県外産地、企業、大学からの人材の受入れ



- 32年度
- JA無料職業紹介所の設置促進(設置:県内全JA)
 - 30、31年度事業の継続(労働力確保経営体数の拡大)
 - 3か年事業の検証

【特徴的な取組】

- 産地間(JA間)連携による労働力確保対策の取組みにより、求人募集の効率化が図られる。
- また、複数作物によるリレー方式の求人により、求職者側も長期間就労が可能となり、短期雇用の課題も解消され、マッチングの拡大が期待される。
- 新たな仕組み(企業へのインセンティブの付加)による他産業との連携により、多様な人材の確保が図られる。

当事業の成果により、本県の農業所得拡大の牽引役として期待されるさくらんぼをはじめとした園芸作物のさらなる振興(「園芸大国やまがたの実現」と県内農業者の経営発展が加速化する。